

一月 一夜 能

一月三十一日(金) 午後六時三十分始

19:00

雅楽

鼎談解説

司会 日置 貴之

白百合女子大学准教授

催馬楽 伊勢海

平調 萬歳楽

演奏

笏拍子 龍笛

楽琵琶 笙

伊崎 善之

三浦 元則

中田 太三

19:20

絵馬

シテ 佐野 玄宜
女内藤 辰巳 大飛能
男神辰巳 大飛能
女神辰巳 大飛能

ワキ 御厨 誠吾

大鼓 亀井 充洋

小鼓 住駒 彦佑

太鼓 梶谷 英樹

貴寛 寛樹

後見

東野 今川 尚史 基

地謡

金川 朝藤 野瀬 倉井

泰隆 大秋 大士 輔雅

和久 大山水 友内 上 荘

太 崇 郎 順 生 優

仕舞

岩高金

船砂札

川野 今 隆 士 聡 基

上東 和朝 野川 久倉 能尚 史太 寛史 郎 輔

終演予定 午後九時十分頃

能「絵馬」シテ

佐野 玄宜 (さの げんき)

シテ方宝生流能楽師



昭和56年生まれ。シテ方宝生流佐野由の長男。昭和61年「鞍馬天狗」花見にて初舞台、平成11年初シテ「経政」。これまでに「翁」千歳「石橋」「道成寺」を披く。現在は、同門会「篤玄会」を主宰、東京、金沢、富山での公演に出演する他、國學院大學宝生流能楽研究会の指導もしている。

絵馬 ~あらすじ~

帝に仕える臣下が伊勢神宮に参詣すると、暗闇の中に白馬の絵馬を持った老人と黒馬の絵馬を持った姥が現れます。臣下が問うと二人は来年の日を占う神事であると答え、日光を乞う白い絵馬と、穀雨を乞う黒い絵馬を今年は初めて同時に掛け、伊勢の二神と正体を明かして消え失せます。やがて天照大神が女神男神を従えて現れ、颯爽と舞を舞った後、宮に隠れ、男女二神の舞う神楽に惹かれるように再び現れる、という天岩戸神話の故事を再現します。



奏者 中田 太三 (なかた たいぞう)

大阪より上京後「雅楽」に出会い、故 大柿佳二氏に笙の手ほどきを受け東儀秀樹氏に楽琵琶を師事、後に豊剛秋氏に楽琵琶・催馬楽を習う。雅楽器や邦楽器を用いた作曲活動・楽曲提供・レコーディング参加 邦楽イベントのプロデュース、音響エンジニア、国際交流基金など海外文化交流のディレクションなど幅広く活動



奏者 三浦 元則 (みうら もとのり)

「東京楽研」「日本音楽集団」「Group-4」所属

幼少より雅楽に親しみ、父 三浦進に箏の技を受け、東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。現在、同大学非常勤講師 箏・歌謡を東儀雅季氏、右舞を多忠輝氏に師事 大学在学時より「東京楽研」に所属し、国内外で数多くの公演に出演 古典の演奏はもとより、他種の音楽家との共演も多く幅広く活動



奏者 伊崎 善之 (いざき よしゆき)

「伶楽舎」所属

高校入学時より雅楽を始め、東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業 在学中に横笛を越後眞美、歌物を東儀雅季、左舞を岩波孝昌の各氏に師事 卒業後に横笛を芝祐晴氏に師事 現在は国内外で数多くの演奏に携わる 2009年度東京藝術大学非常勤講師

次回公演予告

2月28日(金) 18:30 開演/17:30 開場

能 「西王母」 シテ 亀井 雄二
胡弓本曲 『鶴の巣ごもり』『襲』 木場 大輔
仕舞 テーマ【宴】
「鶴亀」 金森隆晋
「七騎落」 小林晋也
「草紙洗」 當山淳司

宝生能楽堂「ナイトモード」



開場(17:30)~開演(18:30)まで、ビストロ Abats. による 夜能プレ・ディナーボックス(ワンドリンク付き)をご提供します。 1名様 ¥1,600(税込) 引換券は能楽堂事務局にて事前販売しております。(※公演当日の販売も御座いますが数に限りがありますので、お早めにお求め下さい。)

チケット 一般 ¥3,000 / 学生 ¥2,000 (全席自由) セット券購入割引: 5枚セット 一般 ¥12,000

※セット券は4、8、9月特別公演を除く年5公演でご利用になれます。能楽堂事務局窓口でのみ販売します。

購入方法 宝生能楽堂オンラインチケット http://www.cnplayguide.com/hosho/ 宝生能楽堂事務局 03-3811-4843 (火曜~日曜 10~17時)



文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会